



[表紙の絵]  
「バドミントントリプルマッチ」  
睦小学校3年  
阿部 涼佑 さん

# みぶ ぎがし

No. 186

2018

H30 9月定例会

# 9月 定例会

平成30年第4回定例会は9月3日に招集され、9月20日までの18日間の会期で開かれました。

町長から提出された条例の改正1件、工事請負契約の締結2件、人事案件3件、補正予算6件、決算認定8件、その他1件の21議案が上程され、いずれの議案も原案のとおり議決しました。

## 一般会計決算

歳入

131億7,265万3,862円

歳出

126億9,084万3,699円

## 特別会計決算

歳入

109億364万4,474円

歳出

103億8,205万9,330円

- 一般会計・国民健康保険特別会計・介護保険事業特別会計・後期高齢者医療特別会計については、起立採決により賛成多数で認定となりました。
- 公共下水道事業特別会計、奨学資金特別会計、農業集落排水事業特別会計については、全議員一致で認定となりました。
- 水道事業会計については、全議員一致で認定となりました。

平成29年度決算を認定  
子育て・健康・壬カがキラリ  
幸せ実感 住みよい 壬生町



# 平成29年度はこのような事業に 予算がつかわれました (主なもの)



※1万円未満切り捨て

町長は、翌年度の予算を決める3月定例会までに前年度の決算について、議会の認定を受けなければなりません。みなさまの納めた税金が適正につかわれたかどうか、3つの常任委員会が審査しました。

## 六美町北部地区 土地区画整理事業

**3,340万円**

進捗中の土地区画整理事業の委託費等につかわれました



## 放課後児童クラブ 施設整備事業

**623万円**

稲葉小学校に放課後児童クラブが開設されました



## みぶっ子心のきらめき 表彰事業

**69万円**

町内小学校6年生367人全員が表彰されました



## 下稲葉地区圃場整備 推進事業

**4,262万円**

受益面積196.5haの圃場整備事業が開始されました



## 健康スポーツ交流拠点 施設整備事業

**6,591万円**

体育館のクライミングウォールの設置(2か所)、管理棟等のトイレ・シャワールームの改修をしました



## 災害対策事業

**642万円**

緊急時の避難のために新たに防災住民マニュアル及びハザードマップを作成しました



## 母子予防接種事業

**6,652万円**

定期予防接種に加え、新たにロタウイルスワクチン及びおたふくかぜワクチンの任意予防接種費用の一部負担が開始されました



## 健康長寿のまちづくり 推進事業

**72万円**

楽しみながら健康長寿を延ばすために健康マイレージ事業「民生町健康の貯金箱」を実施しました。



## 中学生国際交流推進事業

**901万円**

町内の20人の中学生が、オーストラリアシドニーで、語学研修・現地中高生やホストファミリーとの交友を深めました



# 決算認定討論

## 【一般会計】

### 反対討論

田部 明男 議員

歳入では、トップランナー方式を採用し、税の徴収率を引き上げようと、差し押さえを強化しています。都市計画税の問題として、課税しない条例は、1日も早く廃止すべきです。



歳出では、非常勤職員の処遇を改善することが必要です。総務費では、壬生町平和派遣団として中学生を派遣していることは、高く評価したいと思います。この前向きな施策

### 賛成討論

坂田 昇一 議員

歳入については、景気回復及びみぶ羽生田産業団地進出企業の操業開始により、町税収入が大幅に増額となり、これまでの企業誘致及び産業振興への取組が結実したものと評価します。

また、地方創生拠点整備交付金等の国県補助金の積極的導入や、寄付金においては、ふるさと応援寄付金の増加等により自主財源確保に対する努力がうかがえます。



歳出については、第6次総合振興計画前期基本計画に掲げられています各種施策に積極的に取り組んでいる姿勢がうかがえます。

を拡充する姿勢は見られません。

民生費については、敬老祝い金を大幅に削減し、また、子育て支援について、明確な目標を提示しての取り組みはありませんでした。

教育費についても、図書館の指定管理者制度が続けられていますが、教育と「効率」を求める指定管理者制度とは相いれず、全国で「導入しない」との意見が多数を占めています。

これらの事業の具体的改善を求め、反対します。

主な事業としまして、認定こども園3施設が新たに開園、また、ロタウイルス等の任意予防接種の補助が新設され、乳幼児を抱える保護者の負担軽減となっております。また、放課後児童クラブの施設整備や増設工事など、子育て支援への積極的な取組を推進するための事業が実施され、少子化という日本全体が抱えている問題に対して、的確に対応したものとなっています。まちなか新規出店促進事業、壬生まちなか創生事業が執行され、地域の活性化対策にも重点的な対応が見られました。

今後とも健全財政を堅持しつつ、4万町民の負託にこたえていただき、ますことを切望し、賛成します。

## 【国民健康保険特別会計】

### 反対討論

田部 明男 議員

資格者証や短期保険証交付に対して、多くの医療機関が、受診抑制のおそれを指摘しているなか、2月1日現在で51世帯に資格者証を交付。有効期間が1カ月の短期保険証は121世帯、4カ月の短期保険証が211世帯にそれぞれ交付されています。これらの事態は加入者にとって、国保税は高過ぎる払いきれないという状況が、広範に存在するということです。

いま必要なのは、国に対して国保会計への国庫負担を元に戻すよう要求するとともに、一般会計からの繰入をもっと増やし、加入者の国保税を引き下げることです。これらを実施していない国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について、反対します。

### 賛成討論

鈴木 理夫 議員

歳入については、主要な財源であります保険税の収納しやすい工夫がなされ、滞納対策についても、早期の納税催告・相談など、収納率の向上に努力をしていることがうかがえます。

歳出については、特定健康診査の受診率向上に向け、新たな受診勧奨業務委託を実施する一方、その財源は国の交付金を活用するなど、厳しい財政状況の中、支出を抑えつつ、必要な事業を確保するよう努力していることが見受けられます。適正な収入の確保・管理により、サービスの質を落とすこと無く、必要な事業への財源確保、健全化に努力している様子が見え、本決算の認定に賛成します。



必要な事業への財源確保、健全化に努力している様子が見え、本決算の認定に賛成します。



## 【介護保険事業特別会計】

### 反対 討論

田部 明男 議員  
 保険給付費を見ると、不用額が8493万5638円と、予算現額の3・239%。これは、利用料が高過ぎて、サービスを

充分利用できないからではないでしょうか。2017年の介護保険法の改悪により、次々と負担が利用者に押しつけられています。まさに、「保険あつて介護なし」ではありませんか。介護を必要とする方々が、安心して介護サービスを利用できるよう、町が万全を尽くしたかといえば、残念ながらそう言い切れない状況です。町は、介護保険を「相互扶助」ではなく、社会保障の一環と位置づけて、積極的に行動する必要があるとします。以上のことから、介護保険事業特別会計の認定に反対します。

### 賛成 討論

大島 菊夫 議員  
 歳入については、適正な国・県支出等の確保を行い、健全財政に努めており、また、介護保険料についても、特別徴収の制度により、高い収納率を維持しています。滞納者への督促、訪問指導を実施し、収納率向上への努力が、うかがえるところです。

歳出については、介護保険財政が安定的に運営されるよう、介護給付費準備基金を設け、高齢者のための地域支援事業を



実施し、介護予防、自立支援および尊厳の保持に取り組んでいます。適正な保険給付と健全な経営に努めていることから、本決算の認定に賛成します。

## 【後期高齢者医療特別会計】

### 反対 討論

田部 明男 議員  
 後期高齢者医療保険料は、改定では毎回、保険料が増額される流れであり、本町でも1人当たりの保険料は2016年度に

比べ、3千245円増加しました。当然のことながら、2017年度の保険料不納欠損処分額は31万9千4百円と、前年度から、12・465%も増加しています。保険料を払ってはいても、日常の暮らしへの支出にシワ寄せをしている人が大勢にのぼることは、容易に推測できます。値上げをストップする対策をおこなうべきです。しかし、本決算では、そのような有効な手だては取られたとは見られません。これでは、後期高齢者の皆さんが、安心して医療を受けることができるとは言えません。以上のことにより、反対します。

### 賛成 討論

赤羽根 信行 議員  
 歳入の根幹を成す保険料については、きめ細かな対応や制度改善により、収納率が対調定比で99・3%と、引き続き、高い収納率を維持し、歳入の確保が図られているものです。

歳出については、徴収した保険料と公費補填分である基盤安定負担金を後期高齢者医療広域連合に納付する納付金のほか、事務経費及び保険料の徴収に要する経費を適切に執行しているほか、被保険者の健康維持と疾病予防につながる人間ドック検診への助成についても、広域連



合の補助を活用し実施するなど、広域連合との連携・協力を図りながら、後期高齢者医療制度の円滑な運営がされていますので、本決算の認定に賛成します。

## 平成30年度補正予算（平成30年9月定例会可決）

会計名等	補正額	補正後の予算	補正の主な理由	
一般会計（第1号）	4億6,033万6千円	130億33万6千円	主要な一般財源である普通交付税の確定並びに平成29年度決算に伴う財源の全体的な見直し等によるもの。 ・財政調整基金費 2億3,304万1千円 ・庁舎建設基金費 1億5,000万円 ・まちづくり推進基金費 4,625万7千円 ・ふるさと応援寄附金推進事業 2,112万1千円	
特別会計	国民健康保険（第1号）	2億3,963万1千円	44億6,276万6千円	平成29年度の事業実績確定による精算額の決定によるもの。 ・償還金 9,743万5千円 ・一般会計繰出金 1億3,876万6千円
	公共下水道事業（第1号）	586万9千円	14億5,964万2千円	施設の維持管理上緊急を要する修繕工事費用等によるもの。 ・終末処理場管理費 182万6千円 ・流域関連公共下水道事業費 220万円
	介護保険事業（第1号）	2億5,699万1千円	30億9,982万5千円	平成29年度の事業実績確定による精算額の決定によるもの。 ・介護給付費準備基金積立金 8,515万2千円 ・償還金 1億3,576万6千円
	農業集落排水事業（第1号）	676万6千円	3億4,912万2千円	職員給与費、公債費、繰越金の精査によるもの。 ・一般管理費 770万9千円
	後期高齢者医療（第1号）	41万7千円	4億2,784万3千円	平成29年度の事業実績確定による精算額の決定によるもの。 ・職員給与費 ▲244万3千円 ・広域連合納付金 244万1千円 ・一般会計繰出金 73万円

## 決算審査総括意見（要旨）



代表監査委員  
熱田 幸一 氏

「平成29年度壬生町一般会計並びに特別会計決算に係る審査及び基金運用状況に係る審査」

「水道事業会計決算に係る審査」、「決算に係る健全化判断比率及び資金不足比率の審査」について、各会計の歳入歳出決算書、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調査及び財産に関する調査は、いずれも地方自治法等に準拠して作成されており、決算計数についても関係諸帳簿、証書類と合致しており、予算執行に関する事務処理は概ね適正であると認められました。

町の財政構造は、経常収支比率については、前年度より0.2ポイント下がって88.5%となっており、0.2ポイント改善しているものの、依然として

高い財政構造の硬直化が続いていることから、経常経費の抑制・削減に努めるよう求めました。また財政力指数については、0.006ポイントと僅かながら下がって0.724となり、引き続き新たな自主財源の創出、地道な税収等の確保に向けた取組みの必要性について、意見を付したところです。

これからも、全庁を挙げて良質な町民サービスの提供に努めるとともに、これまで以上に堅実な行財政運営に取り組みることが肝要です。事業の選択と集中を図り、必要性のほか、経済性、効率性及び有効性などに十分配慮し、健全かつ持続可能な行財政運営と人材育成に努められるよう期待するところです。

水道事業会計においては、経営成績、財政状態を見ましても、引き続き安定した財政の健全性が維持されていることを確認いたしました。

今後の水道事業につきましても、大幅な給水収益の伸びは期待できない状況であります。また、南部配水場の更新が報

告されていることに加え、順次老朽化施設（配水場や管路）の更新、耐震化の対応等に多額の資金が必要になることにより企業債残高の増加が見込まれます。これらを踏まえ更に効率的な事業の推進及び費用の節減により、健全性の維持向上に努め細心の注意をもって経営に当るよう要望いたしました。

決算に係る健全化判断比率及び資金不足比率等は、実質公債費比率が前年度より0.5ポイントが上がり6.4%となったが、健全化基準の25.0%を大幅に下回る比率となっております。その他につきましても、赤字額や負担額、不足額等が生じておらず、健全な財政運営が図られている事を確認し、是正改善を指摘すべき事項は特にないとを報告いたします。



議会選出監査委員  
市川 義夫 氏

## 人事案件

### 教育委員会委員を再任



平成30年9月30日任期満了となる池節子氏（幸町）の再任に同意しました。

### 固定資産評価審査委員会委員を選任



平成30年9月30日をもって任期満了となる坂本嘉男氏の後任として増山裕司氏（小山市）の選任に同意しました。



平成30年9月30日をもって石江正展氏が退任されることに伴い、後任として賀長勝彦氏（上稲葉）の選任に同意しました。

# 新庁舎建設基本計画に対する 意見書について

壬生町議会庁舎建設特別委員会では、新庁舎建設基本計画に提示された項目・内容について、4回にわたり協議・検討を重ねてきました。その間、活発な議論が交わされ、新庁舎機能に関する建設的な意見や提案等も含めて、今回、町議会の意見書として取りまとめを行い、町長に提出しました。

意見書の概要につきまして、基本計画に示された7つの基本的な考え方に焦点を当て、その確実な実現を図るための対応や方策について下記のことを意見しました。

## ① 町民に親しまれ利用しやすい庁舎

ユニバーサルデザインを導入し、わかりやすい案内表示・サイン等を用いるとともに、利用者のプライバシーの保護等を十分配慮した機能を確保すること。

## ② 災害に強く、防災の拠点となる庁舎

総合防災拠点としての機能が発揮できるように高い耐震性を確保した建物とするとともに、対策本部としての機能が確実に維持できるように自家発電や防災通信等の設備を整備すること。

## ③ 町民の活動・官民協働の拠点となる庁舎

憩いの場となる協働スペース、ギャラリーや展示などの自由な交流スペースなど、町民の活動を支える機能を備えた建物とすること。

## ④ 多様化し変化する行政ニーズに柔軟に対応できる庁舎

効率的な執務環境を確保するため、オープンフロアの導入やスライディングウォールの設置などの施設整備を行うとともに、セキュリティ等にも配慮した庁舎とすること。

また、ICT（情報通信技術）、AI（人工知能）等の活用など、情報化の進展等にも対応できる設備を整備すること。

## ⑤ まちづくりの拠点となる庁舎

行政情報、みぶブランドのPRや恵まれた歴史と文化、自然をはじめとする観光情報等を積極的に発信・提供できる環境整備に努めること。

## ⑥ 住民に開かれた議会活動の推進に資する庁舎

議会としての議決機関の独立性を保ちながら、ユニバーサルデザインの導入や情報通信環境の整備など、住民に開かれた機能を有する議場や多目的な利用も可能な諸室を整備すること。

## ⑦ 環境に配慮した効率的・経済的な庁舎

省エネルギー設備や自然・

再生可能エネルギーの導入により、環境負荷の低減を図るとともに、ライフサイクルコストが縮減できる庁舎とすること。また、緑地の確保など、周辺環境にも配慮した施設とすること。



## 庁舎視察研修

議会庁舎建設特別委員会では、9月25日に茨城県坂東市と八千代町にて、「庁舎建設と議会機能」について視察研修を行いました。両市町ともに、工夫された総合案内窓口や市民スペース、災害に備えた機能や自然エネルギーを生かした設備、住民に開かれた議会の機能等を有しており参考になるとともに活発な意見交換が行われました。

本町では、新庁舎建設基本計画の策定作業を進めています。議会として今後も全町的な視野に立ち、継続的な調査・研究を図り、住民の皆様にも愛される庁舎の実現を目指していきます。





# 委員会

# 審査

各常任委員会は9月4日から18日まで、各会計決算の全般にわたり慎重に審査を行い、常任委員長が本会議で報告をしました。主な審査内容は、次のとおりです。



本会議での委員長報告

”	”	”	委員	副委員長	委員長
田部	戸崎	坂田	市川	中川	遠藤
明男	泰秀	昇一	義夫	芳夫	恭子



遠藤総務常任委員会委員長

## 総務常任委員会

### 平和行政推進事業の今後の展望は

広島県への中学生平和派遣については、下野市との合同事業となっています。当面は現在のやり方で実施し、事業を継続していきたいと考えています。

その他の平和推進事業については、8月初旬から、約3週間、ハイウェーパークみらい館において、戦争の悲惨さを伝えることを目的とした「平和パネ



ハイウェーパークみらい館での「平和パネル展」

ル展」を開催し、平和への意識啓発を行っています。

### 「ふるさと応援寄附金」の収支は

約1億4,200万円の寄附がありました。人件費や返礼品等の必要経費が約7,800万円となり、差引額が約6,400万円です。ただし、壬生町民の方が他市町にふるさと納税をしたことによる町民税の流出が、2,200万円弱になっているので、その分を加味すると、4,300万円弱の増となります。

### デマンドタクシーみぶまるの利用者数は。土日祝日の運行や増便への考えは。下野市、上三川町との広域バスの進捗状況はどうか

1日平均の利用者数は約40人です。土日祝日の運行については、デマンドタクシーの導入を検討する段階で、先行事例において土日祝日の利用者が少なく、収支が悪くなるという懸

念があったことから、平日のみの運行としました。また、増便については、現在約90%の稼働率となっており、増便となると稼働率が下がる可能性が高くなります。今後の需要や費用的な部分を考慮し、今後の運行形態等を検討したいと考えています。

広域バスの運行については、1市2町の連携会議の中で今年度に入ってからより具体的な議論になってきました。来年度の試験運行へ向け、運行ルートや増便等を調整していきます。



デマンドタクシーみぶまる



教育民生常任委員会



田村教育民生常任委員会委員長

委員長	田村	正敏
副委員長	落合	誠記
委員	大島	菊夫
”	鈴木	理夫
”	後藤	節子



本会議での委員長報告

個人番号カード交付事業  
について現行の普及率は

率にすると10%強で、県内動向と同程度となっております。国では個人の電子証明、所得税の申告等で使用できるとPRしていますが普及に繋がっていないところです。



普及が期待される個人番号カード

保育園での食物アレルギー  
対応は

食物アレルギー対応食提供事業や、保育士に対し「エピペン」の使用方法などアナフィラキシーショックの際の対応をどのようにするかなどの研修を実施しています。

児童虐待・DV対策は。  
様々なケースに対応を

児童を育てるうえで問題を抱えている主に親に対して助言や指導を行うという事業で、相談・家庭訪問・電話やメールへの対応、それらに対するの課内会議を実施しています。今のところ、気づかず対応できなかったという案件はありませんが、今後もしっかりと対応していきます。

ふれあいプール維持管理  
事業の収支は。改善策は

維持管理には、管理運営委託料の約2500万円ほか、プールの水循環に係る委託、植栽関係の委託等では毎年同様な費用が必要となります。対して歳入は冷夏の影響で入場者は過去最低となりました。今後、可能な限り収入アップできるような方を検討していきたいと考えています。



黒川の里ふれあいプール

建設経済常任委員会



玉田建設経済常任委員会委員長

委員長 玉田 秀夫  
副委員長 小牧 敦子  
委員 榆井 聡  
江田 敬吉  
赤羽根信行



本会議での委員長報告

効果は  
新食肉センター整備事業の

栃木県畜産公社が、芳賀町内に最新設備の食肉センターを建設し、一日の処理能力は、牛65頭、豚2,000頭です。壬生町の家畜も処理して安定供給に寄与できます。



2020年4月オープン（予定）新食肉センター完成イメージ図

は  
農業委員会組織変更の影響

農業委員会法等に関する法律の改正に伴い、主に政策的な審議を担当する農業委員は18人が10人に減り、代わりに主に直接現場に出る農地利用最適化推進委員15人が新しく組織され総人数は18人から25人となり、農地を守ることが農業委員会の役割であり、更に後継者不足や耕作放棄地の減少のために農地利用最適化推進委員が配置されています。

歳入の社会資本整備総合交付金の交付状況は

毎年、減額となっており、平成29年度は要望に対して約50%になっています。各自治会から町道に関する修繕などの要望がたくさん出ており、平成29年度末総件数は117件でした。現地を調査し説明の上で状況が整っているところから計画、予算という手順を進めています。

支は  
みぶハイウエーパークの収

年間維持管理事業等に多額の費用を支出しています。3事業者4店舗と契約をされており、それぞれ売上の10%を徴収し、収入は、合計6千4百92万4,382円です。



みぶハイウエーパーク



## 議案に対する賛否状況

※ 榎井聡議員は議長のため採決に加わりません。

議案番号	議案名	後藤節子	田部明男	戸崎泰秀	遠藤恭子	赤羽根信行	小牧敦子	坂田昇一	玉田秀夫	田村正敏	中川芳夫	江田敬吉	市川義夫	鈴木理夫	大島菊夫	落合誠記
議案第1号	壬生町放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例の一部改正について (放課後児童支援員となる基礎資格が拡大されたこと及び教員免許状の更新を受けていない場合の取扱いを明確にしたことによる条例の一部改正)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第2号	城址公園ホール大ホール舞台照明機構設備改修工事請負契約の締結について (舞台照明設備及び舞台機構設備の更新並びに誘導灯設備の更新をするもので、株式会社アスライブと8千930万5千200円で工事請負契約を締結するもの)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第3号	社会資本整備総合交付金事業公共下水道工事(北部第七排水区)請負契約の締結について (至宝町及び六美町の市街化区域の雨水排除を目的に恒久的な雨水排水流末を確保するため雨水管を整備するもので、佐藤工業株式会社と1億4千968万8千円で工事請負契約を締結するもの)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第4号	壬生町教育委員会委員の任命について (池節子氏を再任することに議会の同意を求めるもの)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第5号	壬生町固定資産評価審査委員会委員の選任について (坂本嘉男氏の後任として増山裕司氏を選任することに議会の同意を求めるもの)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第6号	壬生町固定資産評価審査委員会委員の選任について (石江正展氏の後任として賀長勝彦氏を選任することに議会の同意を求めるもの)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第7号	平成30年度壬生町一般会計補正予算(第1号)決議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第8号	平成30年度壬生町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)決議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第9号	平成30年度壬生町公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)決議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第10号	平成30年度壬生町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)決議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第11号	平成30年度壬生町農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)決議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第12号	平成30年度壬生町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)決議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第13号	平成29年度壬生町水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第14号	平成29年度壬生町一般会計歳入歳出決算認定について	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第15号	平成29年度壬生町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第16号	平成29年度壬生町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第17号	平成29年度壬生町奨学資金特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第18号	平成29年度壬生町介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第19号	平成29年度壬生町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第20号	平成29年度壬生町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第21号	平成29年度壬生町水道事業会計決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○：賛成 ●：反対

# Q&A

ここが聞きたい

一般質問

## 行政改革と経営責任について

総務部長 基本構想に従い、計画策定と事業化を行います



江田 敬吉 議員

みたいと考えています。

**壬生町の経済再生戦略と実行計画は**

**問** 事業所と雇用数が減少し、市街地の商業活動も衰退路線、抜本的な対策は。

**町長** 企業の引き合いはいい町ですので、住宅だけでなく、企業も入りやすい環境をどうつくっていくかという意味で、農地をどう使えるかということとは大きなポイントです。構想は練っていますので今後に期待していただきたいと思います。

**問** 町が30年前に計画した「六美吾妻線」の推定工事費7億2千万円は、東武鉄道の沿線開発を促進する経済道路として、速やかな着工を求める。

**建設部長** 国の補助事業自体が要求どおりにつかない現状の中で、工区割り等も考えながら、なるべく早い時期に事業化が図れるように努めます。

町の財政を考え、事業方針について県との調整を図っていきたくと考えています。

**町長** 議員ご発言の町負担が7億2千万円という点は、国や県が事業主体とか国の交付金が入ったとかという計算かと思えます。早期に調査をお願いします。

**問** 消防団員の年報酬8万円を20万円に引き上げ、自治会の寄付を廃止すべき。

**総務課長** 出動手当制度でない分、年額報酬は県内他市町と比べて高くなっています。緊急時に財政面も心配しないで速やかな指示が出せるというよい面もありますので、現行のままかと考えています。

**問** 六美地区の市街化区域の雨水対策は大臣認可を取得して24年が経過、工事計画の変更の有無を説明願いたい。やっと着手したが、完成までのプロセスを聞きたい。

**建設部長** 平成8年2月に国の事業計画変更認可を取得し、9年度から11年度に流末の恵川から県道宇都宮栃木線内の雨水幹線の管渠布設を完了し、12年度から至宝町地内の排水

施設の整備を進め、25年度までに約20ヘクタールの整備が完了しました。

今年度より東武線61号踏切西側1・7ヘクタールの管渠整備を実施し、31年度には雨水排水施設整備が完了予定です。

東武線東側の六美市街化区域内の整備は鉄道敷に排水管を埋設する必要があるため、東武鉄道と協議を進めていきます。事業の進捗合わせて調査を行い、現地に即した雨水排水計画を策定し対策に取り組



東武宇都宮線の複線化に期待



# 猛暑日の児童生徒への熱中症対策は

教育次長 熱中症の未然防止に向けた指示・通知をしています



赤羽根 信行 議員

んでいると思いますので、環境整備には力を入れて行きたいと考えています。

### 太陽光発電設備の防災対策は

**問** 危険な個所での、豪雨時に土砂や雨水等の流失が懸念される。雨水対策が的確に行われているのか。

**副町長** 発電事業者に対し、法令による指導に加え、事業計画認定者である経産省のガイドラインに基づく指導を行っています。

**教育次長** U字溝、調整池の設置、斜面であれば傾斜を緩やか、または、中段に平地を用意し2段階構えにするよう要望してあります。

### 高齢者の買い物環境問題は

**問** 現在のデマンドタクシー事業の他に、高齢者の足となる支援サービス事業の予定はあるのか。

**町長** アンケートで町民ニーズを把握した上で、デマンド交通の充実を図ること、あるいは巡回バス等を新たに導入するなど、利便性の高い公共交通のあり方を検討したいと考えています。

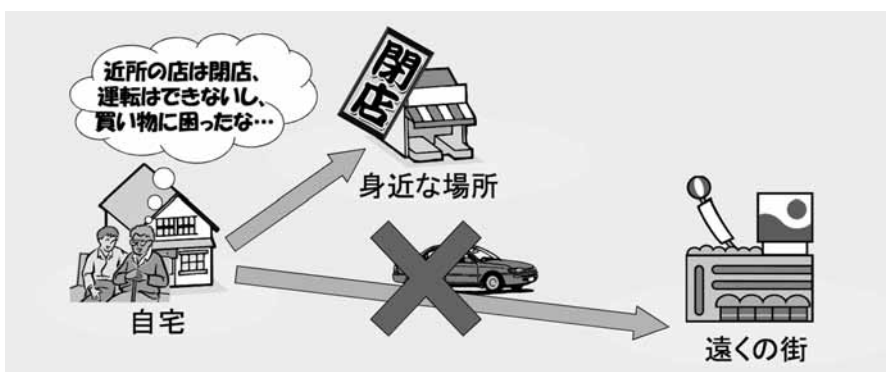
**総合政策課長** バスもデマンドもそれぞれ長所、短所があります。また、一般タクシーとの兼ね合いもありますのでアンケート調査等を分析し、町民にとって利便性の高い交通体系を構築していきたいと考えています。

**問** 猛暑対策として夏休み期間を延長する等の柔軟な対応について、本町の考えは。

**教育次長** 全ての普通教室へのエアコン完備や、休業期間の変更に伴う共働き世帯への影響等を考慮し、通常通り8月31日までとして考えています。

**教育次長** プール授業では、水温管理や適切な休憩、健康観察のほか、涼しい場所でのプール見学指導を注意喚起しています。

**教育長** 環境が良いと勉強・職務に専念でき、保護者も望



ここが聞きたい

一般質問

Q&A

# 様々な課題を持つ子どもに寄り添うサポートセンターを望む

民生部長 各部署から意見を集め、よりよい組織を目指します



小牧 敦子 議員

## 児童虐待防止の体制強化を

**問** 関係閣僚会議で定めた強化プランの子ども家庭総合支援拠点とはどのようなものか。

**こども未来課長** 児童の虐待を予防するという大きな目的のもとで実施する事業です。虐待のリスクが高まってきているが、まだ児童相談所に送致するほどの内容ではない場合には、子ども家庭総合支援拠点が動くであろうという予測です。

**問** 防止策として要支援児童の学童利用、ひとり親のファミリーサポートセンター利用、望まない妊娠をした妊産婦の初回検診の助成はいかがか。

用する形で考えています。

**こども未来課長** 壬生町子育て

て支援事業計画の第2期計画の策定の予定があり、ニーズ調査を実施し、そのなかで子どもの貧困等について調査する予定です。  
ファミリーサポートセンター事業についても会員の募集や、研修等実施していますので、そのなかで研究します。

**問** 今後、呼吸器や車いすが必要な児童が町内学校の就学を望んだ場合の受け入れ体制はどのようなか。

**教育次長** 現在、医療的ケアを必要とする児童のケースはありませんので、対応をしていません。

転入などもありますので、学校や関係機関等と協議した上で、方針を考えたいと思います。

**問** 障がい児を持つ家族の支援や関係機関の情報共有はどのようなか。

**民生部長** ペアレントトレーニングという手法があり、ドリムキッズでは、職員がペアレントトレーニングの研修を受けています。

養育の中で保護者にペアレントトレーニングの指導を実施しています。

**問** 県内では小学生の虐待が最も多い。文科省が薦めるSSWの配置はいかがか。

**教育次長** 現時点で、スクールソーシャルワーカーは配置していません。下都賀教育事務所に配置されていますスクールソーシャルワーカーを活用



いちはやく知らせる勇気つなぐ声

児童虐待は社会全体で解決すべき問題です。あなたのお電話で救われる子どもがいます。

児童虐待かもと思ったらすぐにお電話ください。

いちはやく  
189

連絡は匿名で行うことも可能です。連絡者や連絡内容に関する秘密は守られます。

お住まいの地域の児童相談所につながります。

児童相談所 03-3581-3111



出産や子育てに関する悩みや質問がある方は、児童相談所・市町村へお気軽にご相談ください。

地域ぐるみで早期発見を！



# Q&A

ここが聞きたい

一般質問

# 「人生生き活き100年時代」を目指しフレイル予防の推進を

民生部長 フレイル予防の周知で、要介護期間の短縮を図ってまいります



後藤 節子 議員

**問** 長い要介護期間の短縮を図るため、加齢に伴う虚弱化（フレイル）を遅らせるフレイル予防の推進を。

**民生部長** 介護認定を受けるに至らず、機能低下を意識した方に対し、地域包括支援センターによる短期集中型の栄養指導及び口腔機能低下の講話を開催し、地域サロンや老人クラブを対象に専門職を派遣し、介護予防の講座や講話

を実施してまいります。現事業に虚弱化予防を組み込み、健康寿命の延伸効果を得られるものと考えています。

**学校の熱中症対策設備拡充と「救命連鎖のまちづくり」を**

**問** 簡易熱中症指数計やミストシャワーの設置予定は。

**教育長** 簡易熱中症指数計は、現在9校で導入していま

す。ミストシャワーについては、簡易なものを自作し、現在4校で昇降口に設置しています。残り6校については、必要に応じて対応していきたいと思います。

今後は特別教室のエアコンの整備も検討してまいります。

**問** 小中学校での段階的な心肺蘇生教育の推進で、命の尊さや他者への慈しみを育みながら、児童生徒と保護者へ地域社会へと救命力を高める「救命連鎖の町づくり」を。

**教育長** 中学校では、学習指導要領に基づき、2年生の保健体育で応急処置について学習しています。小学校では、特別活動等で心肺蘇生、AEDの使用について学ぶ機会を設けている学校もあります。

**肝炎ウイルス陽性者の早期発見と重篤化予防対策を**

**問** 肝硬変や肝がんへの進行を防ぐため、肝炎ウイルス検査の受検勧奨と陽性者のフォローアップ体制強化を。

**民生部長** 検診の申し込みがない方、40歳から74歳（約1万8千人）の方には、通知による個別勧奨、75歳以上の後期高齢者（約5千人）の方に対しては保険証郵送時に勧奨通知を同封しています。平成26年度から、肝炎患者にデーネーターを配置し、肝炎に関する全般の相談を受けています。

平均寿命と健康寿命の差



約10年も平均寿命と健康寿命に差異がある。平均寿命と健康寿命を同じにすることで、寝たきりではなく、健康的な人生を送ってほしい。

※平均寿命：厚生労働省「平成25年簡易生命表」  
 ※健康寿命：厚生労働省「平成25年簡易生命表」「平成25年人口動態統計」「平成25年国民生活基礎調査」総務省「平成25年推計人口」より算出

# 必要ない表流水の導入やめるべき

建設部長 表流水の確保も必要と考えます



田部 明男 議員

助していること等から、本事業を終了しました。

**問** 地元産食材の利用を高めるべき。長期注文などの検討は。

**教育次長** 週3回の米飯給食に地元米を使用。平成22年から食材の配送事業にかかる人件費相当分を補助して、地元農産物の利用促進とPRを図る取り組みを行い、野菜はJAしもつけ農産物直売所いなかの郷を通して食材の供給を受けています。今後生産調整を図るような形で事前に必要量を把握できるようなことが可能かどうか、検討していきます。

デマンドタクシー  
“みぶまる”の充実を

**問** “みぶまる”の台数を増やし、運行曜日を拡大しては。

**総務部長** 利用者数、1時間

当たり約4・5人で、2台で対応できています。

土日や休日は利用者が少なく、現行を維持しながら、引き続き土日運行による費用と利用需要を踏まえ検討していきます。

**問** 安全性、安定供給、町民負担など問題が多くある表流水導入はやめるべきでは。

**建設部長** 地震を含め様々な

リスクを想定し、表流水の確保も必要と考えます。高度浄水処理の技術と目視等の確認で、安全性は一層高くなり、表流水と地下水のバランスを配水場で制御し、安定した供給ができます。

当町は県が行う水道用水供給

給事業の水を購入するもので、事業費を負担することはありません。

学校給食の無償化を

**問** 学校給食への月額500円の補助を復活すべき。廃止した理由は。

**教育次長**

経済的に援助を必要とする家庭には、就学援助費という形で給食費を全額補



良質な壬生町の水

# 高齢者ニーズへの対応を問う

民生部長 高齢者がより良い終活ができるよう研究していきます



落合 誠記 議員

### 総務部長

①大きなものでは町道修繕事業が1億6千万円、清掃センター改修等工事が1億3千9百万円、城址公園ホール改修等工事が6千5百万円となっています。

②各インフラ施設の所管課で策定することになっていました既に、公営住宅等長寿命化計画や、舗装長寿命化修繕計画及び下水道長寿命化計画等が設定されています。

③壬生町学校規模適正化審議会に於きまして検討を重ねているところです。

### ペットの同行避難を問う

**問** 災害時のペットの同行避難について環境省が「必要な措置」としているが、見解と対応をうかがう。

### 総務部長

ペットが家族の一員であるとの意識が根付いていることや、被害動物を放置することで、その後の保護、

給餌活動が困難となったり、飼い主が世話のため自宅に戻り、そこで二次被害に出会う危険性があることから、それらを防止するため、町と

しては、各避難所の状況を鑑みながら、屋外での飼養を原則とし、ペットのためのスペースの確保等に努めたいと考えています。



役場庁舎建設予定地=CDグラウンドは、現在グラウンド・ゴルフ等幅広く使用されている

**問** ①ペットボトル回収報奨金の再度引き上げの考えは。②役場移転によるCDグラウンドの代替地の見解は。③“終活”支援事業への見解をうかがう。

### 民生部長

①交付要綱によりペットボトル1本当たりの報奨金を平成33年度以降1円とするまで、1年ごとに0.2円ずつ段階的に引き下げていく予定です。

②関係団体等との調整を図り

ながら、総合的に検討していきます。③お達者サロンの研修メニューや地域包括支援センターでの終活相談等の受付をしています。

### 施設個別計画等を問う

**問** ①公共施設改修費用規模、箇所や内容等の詳細は。②個別施設計画の内容、策定期限をうかがう。③町内小中学校の適正配置について見解をうかがう。



所管事務に関し、合同視察研修により調査研究を行ってきました。その内容について報告します。

## 議会運営委員会

### タブレット型携帯端末の導入と活用状況について

埼玉県飯能市

委員長 鈴木 理夫  
副委員長 落合 誠記  
委員 田村 正敏  
" 小牧 敦子  
" 赤羽根信行  
" 遠藤 恭子

飯能市では、平成23年度からペーパーレス会議等紙使用量削減に取り組んでいました。議会では平成23年秋ごろから協議し全員協議会でのペーパーレス化に取り組みことを決定、平成24年6月の全員協議会よりタブレット端末によるペーパーレス会議を実施。導入による成果としては ①費用削減効果 年間約210万円 ②紙使用量削減枚数 年間約10万枚 ③環境負荷軽減、危機管理対応の向上等 導入後の運用状況 ①各種会議のペーパーレス化 ②本会議一般質問時の効果的な活用 ③議会内の情報伝達 ④災害時の活用 ⑤議案書・予算書等の閲覧 ⑥会議中の情報収集 ⑦各種書類の整理保存でした。

費用的には、現在の第二世代（平成28年度導入）iPadを使



用で導入費用に約270万円、一台当たりの通信費年額約4万5600円（公費5/6・自己負担1/6）また利用のルールも、情報端末使用基準、情報端末機使用範囲で定め、IT会議を設置し有効活用や重大な問題の改善協議等を行うことを定めています。

質疑ではタブレットに関する温度差、利用についての細部等活発に意見交換が出来ました。

壬生町では、新庁舎建設を平成32年度中の完成に向け現在推進中です。新庁舎の機能に、ICT（情報通信技術）AI（人工知能）などのシステム高度化・多様化にも柔軟に対応できる施設整備を求めています。今回の視察研修によって得たものを今後の議会活動に十分に活かしていきます。

## 議会広報特別委員会

### 読みやすい 広報誌を目指して

埼玉県寄居町

委員長 赤羽根信行  
副委員長 遠藤 恭子  
委員 戸崎 泰秀  
" 田部 明男  
" 後藤 節子

議会広報特別委員会では市町村議会広報全国コンクールにおいて最優秀賞（第1位）を受賞した、寄居町議会で、各委員が活発な質疑応答で熱気あふれる研修を行ってきました。

寄居町の先進的かつ読みやすさを重視した、読者目線の広報誌づくりは、1ページずつを大切に、写真の掲載、キャプション、スペース取りと各委員の努力がうかがえるものでした。特に議員がどんな仕事をしているのか、何を訴えているのか分かりやすく掲載され、本会議の議案、常任委員長報告などは簡素に要点だけをまとめ、読みやすさを重点に置き、また、多くの町民が登場した写真、イラスト



ト等ふんだんに取り入れ、さすがだと感じました。

委員と事務局、業者の協力で町民目線の広報誌を発刊するにあたって、各委員が責任を持った紙面づくり、写真撮影、町民へのインタビューなどを積極的に行っており、感銘を受けました。

研修にあたり壬生町議会だよりを、もっと幅広い世代に読んでいただける紙面づくりを目指し、寄居町を参考に議会の情報を発信していきたいと思えます。

## 常任委員会の閉会中における所管事務調査報告

常任委員会での調査結果については、9月定例会初日の本会議において、常任委員長が報告しました。

### 学力向上支援に関する取組み

#### 教育民生常任委員会

当委員会では、議会閉会中において「学力向上支援に関する取組み」についての調査を実施しました。

まず、教育委員会学校教育課より、資料を元に説明を受けました。

教育支援を行う職務としては、学校教育支援員・教員助手・フルタイムティーチャールがあり、その内容は、学力向上支援や心身に障がいのある児童生徒の個別生活支援のほか、外国語活動における補助、特別支援教育の補助、不登校対応、複式学級におけるサポートなど、多岐にわたっていました。特に不登校対応では、いわゆる中一ギャップと言われる中学校への進学時の環境の変化に対応するため、教員・児童生徒の両面から、きめ細かな対応がなされています。そして、不登校を減らすためには学力向上が不可欠であり、先述の支援のほか、学力向上12施策という取り組みも実施し、その成果は全国学力学習状況調査にも表れてきているとのことでした。

質疑を終え、委員会として、学力向上に関する取り組み



嘉陽が丘の適応指導教室「ひばり」



みは、本人の将来の為、また不登校の要因を減らすためにも重要であり、今後ともしっかりと取り組むよう要望しました。また、特別支援を学校全体で取り組んでいくことも非常に大事であり、様々なジャンルで取り組みを続けることも要望しました。

教育民生常任委員会  
委員長 田村 正敏

### 壬生町防災訓練に参加



9月9日、壬生東小学校校庭で行われた防災訓練で、「壬生町議会災害対策本部」を設置しました。壬生町直下で震度6弱の地震が発生、火災の発生や負傷者多数、ライフラインが破壊されていることを想定に訓練が行われた中で、災害活動の支援や、災害時における議会の役割等について確認しました。

議長の指揮により携帯電話で緊急エリアメールを確認





## 「ふるさとまつり」に参加

8月25日、町総合公園陸上競技場において、「ふるさとまつり」が盛大に開催されました。開始前に雷雨があり、心配されるところでしたが、約3万人の来場者で賑わい、また、夜空を彩る約3千発の打ち上げ花火の壮大な美しさと迫力に、会場からは、歓声と拍手が沸き起こっていました。

町議員も「かんぴょう踊り」に参加し、たくさんの踊り手の方々とともに汗を流しました。

## 「ゆうがおマラソン・ソフトボールinみぶ」に参加

去る9月2日、町総合運動場で「第27回ゆうがおマラソン・ソフトボールinみぶ」（町ソフトボール協会主催）が開催されました。

残暑の中、16チームが参加し、親睦を深めました。

試合は「ゆうがおチーム」と「ひばりチーム」に分かれ、1時間対戦し次に引き継ぐ方式です。議員も「ゆうがおチーム」として参加し、攻守巧打に一喜一憂し、盛り上がり満ちた試合を展開しました。



## 議会広報特別委員会



田部委員 後藤委員 赤羽根委員長 遠藤副委員長 戸崎委員

## 編集後記

「酷暑」ともいえる記録的な暑さや大雨など、自然の猛威が振るった夏もやつと納まり、晩秋の気配が一段と深まってきました。みなさん、いかがお過ごしでしょうか。

議会広報特別委員会として、他の議会を視察し、「少しでも町民の皆さんが読みやすく、登場していただける『議会だより』を」と改善の努力を続けています。今回の「議会だより」は、いかがでしたでしょうか。

気がつけば、町議選を経て早くも半年。時の速さに慄（りつ）然とし、「一日いちにちを大切に過ごさねば」と実感するこの頃です。

田部明男